

学校コード F115310105113
注3

設置年度 令和 5年度
計画の区分： 学部の学科の設置
注1

届出

注2
新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部 鍼灸健康学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人新潟総合学園
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	法人事務局 企画部
職名・氏名	カゴシマ ユウキ 神子島 有貴
電話番号	025-257-4467
(夜間)	025-257-4467
e-mail	kikaku@nuhw.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

リハビリテーション学部

＜鍼灸健康学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	16
6. 附帯事項等に対する履行状況等	33
7. その他全般的事項	34

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人新潟総合学園

(2) 大 学 名

新潟医療福祉大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒950-3198
新潟県新潟市北区島見町1398番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(イケダ ヒロム) 池田 弘 (平成13年4月)		
学 長	(ニシザワ マサトヨ) 西澤 正豊 (令和2年4月)		
学 部 長	(オオニシ ヒデアキ) 大西 秀明 (平成30年4月)		
学科長等	(カスヤ ダイチ) 粕谷 大智 (令和5年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。
(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)
令和5年度に報告する内容 → (5)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和5年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5)－① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称（学位）	学位又は学科 の分野	設 置 時 の 計 画				学生募集の停 止について	備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
リハビリテーション学部 鍼灸健康学科 学士 (鍼灸健康学)	保健衛生学関係（看護学 関係及びリハビリテー ション関係を除く。）	4 年	40 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	160 人	—	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。）

(5)－② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学 定員超過率	平均入学 定員超過率 (控除後)	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 (控除後)	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	- 人 - (-) [-]	- 人 - (-) [-]	- 人 - (-) [-]	- 人 - (-) [-]	- 人 - (-) [-]	- 人 - (-) [-]	- 人 - (-) [-]	- 人 - (-) [-]	- 人 - (-) [-]	- 人 - (-) [-]	- 人 40 (0) [0]	- 人 - (-) [-]	0.57倍	— 倍	0.57倍	— 倍	合格者数 には、 第2志願合 格者含む
志願者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	46 (0) [0]	- (-) [-]					
受験者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	46 (-) [-]	- (-) [-]					
合格者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	49 (-) [-]	- (-) [-]					
B 入学者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	23 (-) [-]	- (-) [-]					
入学定員超過率 B/A	—		—		—		—		—		0.57						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「—」を記入してください。
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
- また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
- なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。
- 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率（控除後）」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
- なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「—」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
- 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
- なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。

(5)－③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成 3 0 年度		令和元年度		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	23 [0] 0	- [-] (-)	
2 年次			- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
3 年次					- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
4 年次							- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
計			- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	23 [0] (0)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
平成30年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
令和元年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	23 人	0 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学

・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{23} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<リハビリテーション学部鍼灸健康学科>

(1) ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基礎 教養 科目 群	基礎ゼミ	1前	1			4	2	2	1		
	情報処理Ⅰ	1前	1								1
	情報処理Ⅱ	1後	1								1
	情報処理Ⅲ	2前		1							1
	英語Ⅰ	1前	1								2
	英語Ⅱ	1後	1								2
	アカデミック英語Ⅰ	2・3・4前		1							1
	アカデミック英語Ⅱ	2・3・4後		1							1
	アカデミック英語Ⅲ	2・3・4後		1							1
	韓国語Ⅰ	1・2後		1							1
	中国語Ⅰ	1・2後		1							1
	スペイン語Ⅰ	1・2後		1							1
	ドイツ語Ⅰ	1・2後		1							1
	韓国語Ⅱ	2・3前		1							1
	中国語Ⅱ	2・3前		1							1
	スペイン語Ⅱ	2・3前		1							1
	ドイツ語Ⅱ	2・3前		1							1
	日本語表現法Ⅰ	1後		1		1					
	日本語表現法Ⅱ	1後		1		1					
	スポーツ・健康	1前	1								2
	スポーツ・実践	2・3・4前・後		1							1
	研究プロジェクト演習Ⅰ	1後		1							1
	研究プロジェクト演習Ⅱ	2前		1							1
	研究プロジェクト演習Ⅲ	2後		1							1
	研究プロジェクト演習Ⅳ	3前		1							1
	研究プロジェクト演習Ⅴ	3後		1							1
	研究プロジェクト演習Ⅵ	4前		1							1
	小計(27科目)	－	6	21	0	4	2	2	1	0	11
保健医 療福 祉教 養科 目群	ボランティアの世界	1前		1							1
	コミュニケーション学入門	1前		1							1
	対人コミュニケーション論	1後		1							1
	心理学概論	1後		1							1
	人間を知る	1前		1							1
	命の倫理	1後		1							1
	QOLの世界	1後		1							1
	こどもの世界	1後		1							1
	アスリートの世界	1前		1							1
	臨床医の世界	1後		1							1
	加齢と身体	1後		1							1
	食を楽しむ	1前		1							1
	眼の神秘	1前		1							1
	義肢装具の世界	1後		1							1
	新潟学	1後		1							1
	国際保健の世界	1後		1							1
	国民の生活と健康を支える仕組み	1前		1							1
	現代社会と経済	1前		1							1
	法学Ⅰ	1後		1							1
	法学Ⅱ	1後		1							1
	臨床の哲学	1前		1							1
	臨床技術の世界	1前		1							1
	留学の魅力	1前		1							1
	シティズンシップ教育入門	1後		1							1
	放射線の基礎と人体への影響	1前		1							1
	新潟水俣病の理解	1前		1							1
	統計入門	1後		1							1
	一次救命処置法	1前		1							1
	東洋医学的養生	1前		1		1					
	小計(29科目)	－	0	29	0	1	0	0	0	0	23
保健医 療福 祉連 携科 目群	連携基礎ゼミ	2後	1			4	2	2	1		
	チームアプローチ入門	1後	1								7
	保健医療福祉連携学	2・3前		1							1
	地域連携学	3前		1							1
	連携総合ゼミ	3後・4前		1							1
	社会連携実践演習Ⅰ	1・2・3・4前		1							1
	社会連携実践演習Ⅱ	1・2・3・4後		1							1
	小計(7科目)	－	2	5	0	4	2	2	1		8
	解剖学Ⅰ	1前	2								1
	解剖学Ⅱ	1後	2								1
	解剖学実習	2後	2								1
	生理学	1前	2								1
	生理学実習	2前	2								1
	病理学	1前	1			1					
	病理学実習	1後	1			1					
	免疫学	2後	1			1					
	臨床薬理学	2後	1								1
	公衆衛生学	1前	1								1
	公衆衛生学演習	2後	1								1
	臨床医学総論	2前	1					1			
	臨床医学各論Ⅰ 内科・神経内科	2前	1			1					

【令和5年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基礎 教養 科目 群	基礎ゼミ	1前	1			4	2	2	1		
	情報処理Ⅰ	1前	1								1
	情報処理Ⅱ	1後	1								1
	情報処理Ⅲ	2前		1							2
	英語Ⅰ	1前	1								2
	英語Ⅱ	1後	1								2
	アカデミック英語Ⅰ	2・3・4前		1							2
	アカデミック英語Ⅱ	2・3・4後		1							2
	アカデミック英語Ⅲ	2・3・4後		1							2
	韓国語Ⅰ	1・2後		1							3
	中国語Ⅰ	1・2後		1							2
	スペイン語Ⅰ	1・2後		1							1
	ドイツ語Ⅰ	1・2後		1							2
	韓国語Ⅱ	2・3前		1							1
	中国語Ⅱ	2・3前		1							1
	スペイン語Ⅱ	2・3前		1							1
	ドイツ語Ⅱ	2・3前		1							1
	日本語表現法Ⅰ	1後		1		1					
	日本語表現法Ⅱ	1後		1		1					
	スポーツ・健康	1前	1								2
	スポーツ・実践	2・3・4前・後		1							1
	研究プロジェクト演習Ⅰ	1後		1							1
	研究プロジェクト演習Ⅱ	2前		1							1
	研究プロジェクト演習Ⅲ	2後		1							1
	研究プロジェクト演習Ⅳ	3前		1							1
	研究プロジェクト演習Ⅴ	3後		1							1
	研究プロジェクト演習Ⅵ	4前		1							1
	小計(27科目)	－	6	21	0	4	2	2	1	0	19
保健医 療福 祉教 養科 目群	ボランティアの世界	1前		1							1
	コミュニケーション学入門	1前		1							1
	対人コミュニケーション論	1後		1							1
	心理学概論	1後		1							1
	人間を知る	1前		1							1
	命の倫理	1後		1							1
	QOLの世界	1後		1							1
	こどもの世界	1後		1							1
	アスリートの世界	1前		1							1
	臨床医の世界	1後		1							1
	加齢と身体	1後		1							4
	食を楽しむ	1前		1							4
	眼の神秘	1前		1							1
	義肢装具の世界	1後		1							5
	新潟学	1後		1							1
	国際保健の世界	1後		1							2
	国民の生活と健康を支える仕組み	1前		1							1
	現代社会と経済	1前		1							1
	法学Ⅰ	1後		1							1
	法学Ⅱ	1後		1							1
	臨床の哲学	1前		1							7
	臨床技術の世界	1前		1							7
	留学の魅力	1前		1							8
	シティズンシップ教育入門	1後		1							7
	放射線の基礎と人体への影響	1前		1							1
	新潟水俣病の理解	1前		1							1
	統計入門	1後		1							1
	一次救命処置法	1前		1							1
	東洋医学的養生	1前		1		1					
	自然人類学概論	1後		1							1
	データサイエンス概論	1後		1							1
	小計(31科目)	－	0	31	0	1	0	0	0	0	55
保健医 療福 祉連 携科 目群	連携基礎ゼミ	2後	1			4	2	2	1		
	チームアプローチ入門	1後	1								8
	保健医療福祉連携学	2・3前		1							4
	地域連携学	3前		1							2
	連携総合ゼミ	3後・4前		1							1
	社会連携実践演習Ⅰ	1・2・3・4前		1							4
	社会連携実践演習Ⅱ	1・2・3・4後		1							4
	小計(7科目)	－	2	5	0	4	2	2	1		11
	解剖学Ⅰ	1前	2								1
	解剖学Ⅱ	1後	2								2
	解剖学実習	2後	2								2
	生理学	1前	2								2
	生理学実習	2前	2								1
	病理学	1前	1					1			
	病理学実習	1後	1					1			
	免疫学	2後	1					1			
	臨床薬理学	2後	1								1
	公衆衛生学	1前	1								1
	公衆衛生学演習	2後	1								1
	臨床医学総論	2前	1					1			
	臨床医学各論Ⅰ 内科・神経内科	2前	1					1			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ー②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

＜基礎教養科目群＞	
・科目担当者の配置見直しにより、「アカデミック英語Ⅰ」「アカデミック英語Ⅱ」「アカデミック英語Ⅲ」の教員配置を「兼任・兼任１」から「兼任・兼任２」に変更。	
・科目担当者の配置見直しにより、「韓国語Ⅰ」の教員配置を「兼任・兼任１」から「兼任・兼任３」に変更。	
・科目担当者の配置見直しにより、「中国語Ⅰ」の教員配置を「兼任・兼任１」から「兼任・兼任２」に変更。	
・科目担当者の配置見直しにより、「ドイツ語Ⅰ」の教員配置を「兼任・兼任１」から「兼任・兼任２」に変更。	
＜保健医療福祉教養科目群＞	
・科目担当者の配置見直しにより、「加齢と身体」の教員配置を「兼任・兼任１」から「兼任・兼任４」に変更。	
・科目担当者の配置見直しにより、「食を楽しむ」の教員配置を「兼任・兼任１」から「兼任・兼任４」に変更。	
・科目担当者の配置見直しにより、「義肢装具の世界」の教員配置を「兼任・兼任１」から「兼任・兼任５」に変更。	
・科目担当者の配置見直しにより、「国際保健の世界」の教員配置を「兼任・兼任１」から「兼任・兼任２」に変更。	
・科目担当者の配置見直しにより、「臨床の哲学」の教員配置を「兼任・兼任１」から「兼任・兼任７」に変更。	
・科目担当者の配置見直しにより、「臨床技術の世界」の教員配置を「兼任・兼任１」から「兼任・兼任７」に変更。	
・科目担当者の配置見直しにより、「留学の魅力」の教員配置を「兼任・兼任１」から「兼任・兼任８」に変更。	
・科目担当者の配置見直しにより、「シティズンシップ教育入門」の教員配置を「兼任・兼任１」から「兼任・兼任７」に変更。	
・「自然人類学概論」の新設により、「兼任・兼任１」を配置。	
・「データサイエンス概論」の新設により、「兼任・兼任１」を配置。	
＜保健医療福祉連携科目群＞	
・科目担当者の配置見直しにより、「チームアプローチ入門」の教員配置を「兼任・兼任７」から「兼任・兼任８」に変更。	
・科目担当者の配置見直しにより、「保健医療福祉連携学」の教員配置を「兼任・兼任１」から「兼任・兼任４」に変更。	
・科目担当者の配置見直しにより、「地域連携学」の教員配置を「兼任・兼任１」から「兼任・兼任２」に変更。	
・科目担当者の配置見直しにより、「社会連携実践演習Ⅰ」の教員配置を「兼任・兼任１」から「兼任・兼任４」に変更。	
・科目担当者の配置見直しにより、「社会連携実践演習Ⅱ」の教員配置を「兼任・兼任１」から「兼任・兼任４」に変更。	
＜専門基礎科目群＞	
・科目担当者の配置見直しにより、「解剖学Ⅱ」の教員配置を「兼任・兼任１」から「兼任・兼任２」に変更。	
・科目担当者の配置見直しにより、「解剖学実習」の教員配置を「兼任・兼任１」から「兼任・兼任２」に変更。	
・科目担当者の配置見直しにより、「生理学」の教員配置を「兼任・兼任１」から「兼任・兼任２」に変更。	
・科目担当者の配置見直しにより、「生理学実習」の教員配置に「教授１」を追加。	
・科目担当者の配置見直しにより、「臨床医学各論Ⅱ運動器」の教員配置を「准教授１」から「助教１」に変更。	
・科目担当者の配置見直しにより、「予防とコンディショニング演習」の教員配置を「助教１」から「准教授１」に変更。	
・科目担当者の配置見直しにより、「高齢社会学」の教員配置を「講師１」から「教授１」に変更。	
・科目担当者の配置見直しにより、「養生学」の教員配置を「准教授１」から「教授１」に変更。	
・科目担当者の配置見直しにより、「心の発達と維持」の教員配置を「助教１」から「教授１」に変更。	
・科目担当者の配置見直しにより、「方剤学」の教員配置を「准教授１」から「教授１」に変更。	
・科目担当者の配置見直しにより、「基礎医学研究セミナー」の教員配置を「講師１」から「教授１」に変更。	
・科目担当者の配置見直しにより、「プレゼンテーション方法論」の教員配置を「講師１」から「准教授１」に変更。	
＜専門専攻科目群＞	
・科目担当者の配置見直しにより、「経絡経穴学」の教員配置を「教授１」から「講師１」に変更。	
・科目担当者の配置見直しにより、「経絡経穴学実習」の教員配置を「助教１」から「准教授１」「講師２」に変更。	
・授業運営上の都合により、「鍼灸治効理論」の配当年次を「２前」から「２後」に変更。	
・科目担当者の配置見直しにより、「臨床鍼灸学Ⅰ(内科・神経内科)」の教員配置を「講師１」から「教授１」に変更。	
・科目担当者の配置見直しにより、「臨床鍼灸学Ⅲ(感覚器)」の教員配置を「講師１」から「教授１」に変更。	
・授業運営上の都合により、「疼痛管理鍼灸学」の配当年次を「３前」から「３後」に変更。	
・科目担当者の配置見直しにより、「リハビリテーション学総論」の教員配置を「教授１」から「准教授１」に変更。	
・授業運営上の都合により、「リハビリテーション学各論」の配当年次を「３前」から「３後」に変更。	
・科目担当者の配置見直しにより、「鍼技術学実習」の教員配置を「教授１」から「講師１」「助教１」に変更。	
・科目担当者の配置見直しにより、「灸技術学実習」の教員配置を「講師１」から「助教１」に変更。	
・科目担当者の配置見直しにより、「臨床鍼灸学実習Ⅰ(内科・神経内科)」の教員配置を「准教授１」から「教授１」に変更。	
・科目担当者の配置見直しにより、「臨床鍼灸学実習Ⅱ(運動器)」の教員配置を「助教１」から「准教授１」に変更。	
・科目担当者の配置見直しにより、「メンタルヘルス鍼灸学実習」の教員配置を「教授１」から「准教授１」に変更。	
・科目担当者の配置見直しにより、「高齢者鍼灸学実習」の教員配置を「講師１」から「教授１」に変更。	
・授業運営上の都合により、「臨床実習Ⅰ」の配当年次を「２前」から「２後」に変更。	
・科目担当者の配置見直しにより、「臨床倫理学」の教員配置を「准教授１」から「講師１」に変更。	
・科目担当者の配置見直しにより、「鍼灸臨床で応用するストレッチ術演習」の教員配置を「准教授１」から「助教１」に変更。	

- (注) ・ 2 (1) ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
- ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
86 科目	71 科目	0 科目	157 科目	86 科目 [0]	73 科目 [2]	0 科目 [0]	159 科目 [2]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{157} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分			内 容					備考	
(1)校 地 等	区 分		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計		
	校 舎 敷 地		72,947.00㎡	0㎡	0㎡		72,947.00㎡		
	運動場用地		58,612.00㎡	0㎡	0㎡		58,612.00㎡		
	小 計		131,559.00㎡	0㎡	0㎡		131,559.00㎡		
	そ の 他		98,365.00㎡	0㎡	0㎡		98,365.00㎡		
	合 計		229,924.00㎡	0㎡	0㎡		229,924.00㎡		
(2)校 舎			専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計		
			57,243.04㎡ (57,243.04㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)		57,243.04㎡ (57,243.04㎡)		
(3)教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
		49室	35室	110室	— 室 (補助職員 — 人)	— 室 (補助職員 — 人)			
(4)専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		リハビリテーション学部 鍼灸健康学科			10 室				
(5)図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
		747〔3〕 (299〔1〕)	42〔10〕 (28〔4〕)	15〔10〕 (6〔4〕)	27 (11)	1159 (1159)	14 (14)		
	リハビ ^レ テーション学部 鍼灸健康学科								
	計	747〔3〕 (299〔1〕)	55〔2〕 (22〔0〕)	12〔8〕 (6〔4〕)	27 (11)	1159 (1159)	14 (14)		
(6)図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
		2,083.8㎡		394席		105,360冊			
(7)体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
		第1体育館 第2体育館 第3体育館 第4体育館	1,709.43㎡ 630.00㎡ 2,630.51㎡ 1,807.38㎡	屋内プール25m×6コース 硬式野球グラウンド1面 テニスコート4面		屋内走路 1棟 屋内野球練習場 1棟 クラブハウス 1棟 屋内投てき練習場 1棟			
(8)経費の見 積り及び 維持方法 の 概 要	経費 の見 積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費には電子ジャー ナル・データベースの 整備費（運用コスト含 む）含む。
		教員 1 人 当り 研究 費 等	400千円	400千円	図書購入費	2,500千円	2,500千円	5,500千円	
		共 同 研 究 費 等	2,150千円	2,150千円	設備購入費	138,600千円	2,000千円	2,000千円	
	学生 1 人 当 り 納付金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
	1,850千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円	— 千円	— 千円			
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、雑収入 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「（5）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（5）」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「（8）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	新潟医療福祉大学									平均入学定員 超過率0.7倍以 下の学科数	1	平均入学定員 超過率1.15倍 以上の学科数	0	収容定員充足 率0.7倍以下の 学科数	1	収容定員充足 率1.15倍以上 の学科数	0
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員超過率	平均入学 定員超過率 (控除後)	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	定員変更 年度 (AC期間 の学科の み)	開設 年度	所在地	備 考				
	年	人	年次 人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度						
<u>リハビリテーション学部</u>	4	290	－	1,040	－	1.05	－	1.02	－	－	平成30	－					
理学療法学科	4	120	－	480	学士 (理学療法 学)	1.13	－	1.10	－	－	平成30	新潟県新潟市北区島 見町1398番地					
作業療法学科	4	50	－	200	学士 (作業療法 学)	0.99	－	0.95	－	－	平成30	同上					
言語聴覚学科	4	40	－	160	学士 (言語聴覚 学)	0.97	－	0.94	－	－	平成30	同上					
義肢装具自立支援学科	4	40	－	160	学士 (義肢装具自 立支援学)	1.08	－	1.04	－	－	平成30	同上					
<u>鍼灸健康学科</u>	4	40	－	40	学士 (鍼灸健康 学)	0.57	－	0.57	－	令和5	令和5	同上	令和5年度開設				
医療技術学部	4	295	－	1,180	－	1.02	－	1.01	－	－	平成13	－					
臨床技術学科	4	100	－	400	学士 (臨床技術 学)	1.04	－	1.02	－	－	平成23	新潟県新潟市北区島 見町1398番地					
視機能科学科	4	50	－	200	学士 (視機能科 学)	0.95	－	0.91	－	－	平成26	同上					
救急救命学科	4	55	－	220	学士 (救急救命 学)	1.03	－	1.01	－	－	平成29	同上					
診療放射線学科	4	90	－	360	学士 (診療放射線 学)	1.04	－	1.06	－	－	平成30	同上					
<u>健康科学部</u>	4	290	3年次 5	1,120	－	1.08	－	1.05	－	－	平成19	－					
健康栄養学科	4	40	－	160	学士 (健康栄養 学)	1.09	－	1.04	－	－	平成19	新潟県新潟市北区島 見町1398番地					
<u>健康スポーツ学科</u>	4	250	3年次 5	960	学士 (健康スポー ツ学)	1.07	－	1.06	－	令和3	平成19	同上	令和3年度から入学定員変更（200→250）				
看護学部	4	107	3年次 3	434	－	1.03	－	1.00	－	－	平成30	－					
看護学科	4	107	3年次 3	434	学士 (看護学)	1.03	－	1.00	－	－	平成30	新潟県新潟市北区島 見町1398番地					
社会福祉学部	4	120	3年次 5	490	－	0.93	－	0.91	－	－	平成13	－					
社会福祉学科	4	120	3年次 5	490	学士 (社会福祉 学)	0.93	－	0.91	－	－	平成13	新潟県新潟市北区島 見町1398番地					
医療経営管理学部	4	80	3年次 5	330	－	1.12	－	1.11	－	－	平成22	－					
医療情報管理学科	4	80	3年次 5	330	学士 (医療情報 学)	1.12	－	1.11	－	－	平成22	新潟県新潟市北区島 見町1398番地					
大学全体	4	1,182	3年次 18	4,594	－	－	－	－	－	－	－	－					

- （注）・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
（様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。）
- ・学部・学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率（控除後）」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「－」としてください。
 - ・「收容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の收容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33收容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「收容定員充足率（控除後）」には、「收容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「收容定員充足率」を記入してください。
なお、「收容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率（控除後含む）」及び「收容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、收容定員に影響のある情報を記入してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2) -① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2) -② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2) -① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2) -② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
4	2	2	1	9	0	4	2	2	1	9	0
0	0	0	0	0	0						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
4	2	2	1	9	0	4	2	2	1	9	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) -③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65（講師以上） 60（助教・助手）	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) -④ 設置時の計画に対する教員充足率

現在（報告時）の完成年度時の状況(C)

設置時の計画(A)

=

9

9

=

100

%

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数

現在（報告時）の状況(B)

=

0

9

=

0

%

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在（報告時）の完成年度時の状況(C')

設置時の計画(A')

=

0

0

=

-

%

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由
(3)－① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
		（該当なし）											
合計（D）						後任補充状況の集計（E）							
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「（3）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 - ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 - ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
		(該当なし)											
合 計（F）						後任補充状況の集計（G）							
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 - ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 - ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－③ 上記(3)－① ・ (3)－② の合計

合計（D）＋（F）					後任補充状況の集計（E）＋（G）									
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	

(3)－④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)－③合計(D)+(F)

(2)－②設置時の計画(A)

=

0

9

=

0

%

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3)－⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0

人

- (注) ・ (3)－①、(3)－②で**赤字**で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
- ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D)＋(F)と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別		担当予定科目	後任補充状況		辞任等の理由			
		(該当なし)									
合計						後任補充状況の集計					
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人		必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
			計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(該当なし)

(注) ・ 上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時	(該当なし)		
設置計画履行状況 調 査 結 果	(該当なし)		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「（４）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（５）」と記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「（４）（５）」と記載してください。
 - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（５）」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

＜リハビリテーション学部 鍼灸健康学科＞

（１）設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	(該当なし)

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２）教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成17（2005）年4月に教育開発委員会内の担当部会を分離独立し、ファカルティ・ディベロップメント（FD）委員会を設置した。 ・平成28（2016）年度より、事務局の各部課職員から構成されるSD推進委員会を設置した。 ・令和元年（2019）年度より、「FD委員会」と「SD推進委員会」が連携する体制を取り、各種セミナーを共催にて企画・開催した。 ・令和3（2021）年度より、「FD委員会」と、「SD推進委員会」を統合した、「FD・SD推進委員会」へ名称を変更した。また、同委員会内で、「SD推進委員会」の機能を継続して持たせるため、「SD推進ワーキンググループ」を構成し、委員会活動に参画している。 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FD・SD推進委員会：各学科専任教員（1名）と事務局教務課職員（2名）から構成され、月1回（年12回）開催している。 ・SD推進ワーキンググループ：職員のみで構成され、2022年度は月1回（年12回）を開催している。 <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>＜FD・SD推進委員会＞</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) FD・SD推進委員会活動全般の年間計画について (2) 新年度新任教員FDの実施内容・スケジュールについて (3) 学内外FDについて (4) 授業評価について (5) 部会活動（FD・SD研修部会、教育研究推進部会、学生支援部会、授業評価部会、グローバル化推進部会）について (6) その他 <p>＜SD推進ワーキンググループ＞</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) SD推進ワーキンググループの年間計画について (2) 新任職員対象のSD研修について (3) 春の職員会、秋の職員会、職員交流会について (4) その他 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p>

<p><FD・SD共通></p> <p>(1) 教職員対象とした活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FD・SD共催ランチョンセミナー（担当業務や高等教育を取り巻く課題・トピック等の紹介：年6回開催） <p><FD></p> <p>(1) 教職員を対象とした活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC IPテスト（年4回開催） ・セミナー「オンデマンド配信授業を欠席する学生の傾向」 ・セミナー「メンタル面に関する合理的配慮」 ・セミナー「シェアかふえ」（図書館・学習支援委員会 / メンタルヘルス支援室 / FD・SD推進委員会 共催） ・セミナー「大学院における複数教員での指導体制と学位審査までのプロセス」 ・セミナー「ティーチング・アシスタントFD研修」 ・セミナー「2025年度 新課程世代に向けた『学修者本位の入学前教育』とは～イマドキの学生の傾向と入学後の支援に向けて～」（高等教育推進センター運営委員会 / FD・SD推進委員会 共催） ・セミナー「学生の社会貢献活動を支える仕組みづくり～骨髄提供を例に～」（社会連携推進センター運営委員会 / 教務委員会 / FD・SD推進委員会 共催） ・セミナー「見えにくさを感じる人に役立つ IT 活用 ～仕事効率化を目指して～」 ・セミナー「合理的配慮のための仕組みづくり」 ・セミナー「社会連携実践演習の現況」（社会連携推進センター運営委員会 / FD・SD推進委員会 共催） ・セミナー「本学での英語論文作成支援制度について」（研究・産官学連携推進部 / FD・SD推進委員会 共催） ・セミナー「本学の連携教育の位置づけ～連携基礎ゼミの目的と実例～」（新潟連携教育推進センター運営委員会 / FD・SD推進委員会 共催） ・ICTIに関する大学院 FDセミナー「空間の枠を超えた大学院メディア授業の提案」 ・セミナー 大学院FD「内部質保証におけるアセスメントプランについて」 <p>(2) 教員を対象とした活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新任教員FD（年1回開催） ・国際交流委員会共催 春の教員英語研修「英語による教授法」（年1回開催） <p>(3) 上記の各活動を実施するための部会開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FD・SD研修部会 令和4（2022）年度 11回開催 ・教育研究推進部会 令和4（2022）年度 11回開催 ・学生支援部会 令和4（2022）年度 11回開催 ・授業評価部会 □令和4（2022）年度 7回開催 ・グローバル化推進部会 令和4（2022）年度 6回開催 <p>(4) 学外FD支援</p> <p>学外FDの案内があった際、委員会より、ポータルサイト、メール等により周知している。</p> <p><SD></p> <p>(1) 事務職員のみを対象とした活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新任職員研修 ・春の職員会（各部課の前年度の総括、当年度の目標） ・秋の職員会（アサーティブコミュニケーション研修） ・職員交流会（新任職員 施設見学ツアー） <p>(2) 教職員を対象とした活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FD・SD共催ランチョンセミナー（担当業務や高等教育を取り巻く課題・トピック等の紹介：年6回開催） <p>(3) 上記、各活動を実施するための委員会、SD推進ワーキンググループを開催（月1回）</p>	<p>b 実施方法</p> <p><FD></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学内：全教員宛にメール配信により、学内で実施するFD活動開催を周知し、参加を促している。 <p>実施後は、参加者アンケートにより、内容等の満足度や所感を記載してもらい、次回の開催に活かしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学外：FD・SD推進委員会において、学外からの案内を委員長から委員に周知し、各学科で参加者を募っている。参加した場合、報告書の提出を求め、委員会および合同教授会にて資料報告を行っている。 <p><SD></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学内：SD推進委員会が実施する活動のうち、各部課が担当する業務ならびに高等教育を取り巻く課題の紹介等、教育研究の維持向上に資するテーマについては、全教員にも実施をメールにて周知し、参加を促している。 ・学外：実施テーマに直結する事務局の当該部課の職員が参加し、事後に報告書を作成し、学内で共有している。 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p><FD></p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4（2022）年度は前年度に引き続きSD活動と連携し教員の他、事務職員も参加した。 <p>その他、メディア授業に関するFD、学生支援のためのFD等を実施し、各教員個人が必要だと考えるテーマのFDに毎回40～60名程度の教員が参加している。</p> <p><SD></p> <ul style="list-style-type: none"> ・SD活動は事務職員を主体とした内容としつつも、各部課が担当する業務ならびに高等教育を取り巻く課題などの紹介等、教育研究の維持向上に資するテーマについては、関心に応じて毎回、30～50名程度の教員が参加している。 <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施された授業評価アンケートについては、ポータルサイトに全集計結果を掲出しており、教員の意欲的な授業改善、学生へのフィードバックに役立てている。 <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期（前半・後半および通期）、後期（前半・後半および通期、通年）に開講される科目について学生が回答し、評価している。2018年度後期からWEB方式へ移行し、ポータルサイト上で実施している。 <p>b 教員や学生への公開状況、方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの集計結果を学生・教職員に学内ポータルサイト内で公表している。また、教職員には結果をもとに学生へのフィードバックを依頼し、これについてもポータルサイト内で公開している。 <p>（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。</p> <p>「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）</p>
---	---

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

(該当なし)

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

医学、医療の高度化と専門化に加え、高齢化の進行、疾病構造の変化等に伴って、医療や健康に対する社会的要求も多様化、複雑化し、質の高い医療技術の提供と、予防医学・全人的な視点による医療が求められている。このため、現代医学を補完する、補完代替医療（CAM：complementary and alternative medicine）が医療現場に積極的に取り込まれるようになり、最近では、現代医学とCAMの関係性をさらに発展させ、両者を統合した統合医療（integrative medicine）を構築すべき様々な試みがなされている。このうち、特にCAMの中核である鍼灸医療には、大きい期待が寄せられており、鍼灸師が病院・診療所などの医療機関から求められるようになり、今後益々この傾向は高まるものと予想される。医療機関においては、鍼灸師も医師をはじめ看護師、理学療法士などとチームを組んで医療にあたることが求められている。

また、2018年(平成30年)における人口10万人あたりのはり師数を都道府県別にみると、新潟県は58.9人(全国平均は96.3人)で全国35位と下位に位置しており、きゅう師もほぼ同数である。鍼灸師養成大学が存在しない北海道・東北地方・北信越地方は人口10万人あたりのはり師数も少ない傾向にあり、こうした偏りの是正が求められている。このような観点からも、本学が鍼灸師を養成する必要性は高く、新潟県を拠点に、近隣県を含め鍼灸師を育成することで、鍼灸業界の更なる発展に寄与し、引いては医療の発展の一助としたい考えのもと設置された。

令和5年4月に9名の専任教員(教授4、准教授2、講師2、助教1)が着任し、入学生23名を迎え初年度の教育課程を開始した。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・令和3(2021)年3月 公表

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を作成し、ホームページに公表した

https://www.nuhw.ac.jp/about/pdf/futureplan_evaluation_2021.pdf

③ 認証評価を受ける計画

・令和9年(2027)年度に評価機関(日本高等教育評価機構)の評価を受けるべく、学内で準備中

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書(令和5年度)

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪aで「有」の場合≫

b 公表(予定)時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他()]

≪aで公表「無」の場合≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。